

防災アンケート調査結果

【調査の概要】

1 調査の目的

この調査は、市内にお住まいの皆さまの防災に対するお考えや日ごろ実践していることなどについて情報をご提供していただき、今後の本市における防災の方向性や施策の検討に活かすことを目的に実施しました。

2 調査集計の実施方法

(1) 調査期間

平成 26 年 10 月 20 日から平成 26 年 11 月 14 日まで

(2) 方法等

調査対象：18 歳以上の市民を対象に無作為抽出

調査地域：小牧市内全域

配布数：1,000 票

回収数：396 票

回収率：39.6 パーセント

調査方法：配布、回収ともに郵送方式

1.1 アンケート結果

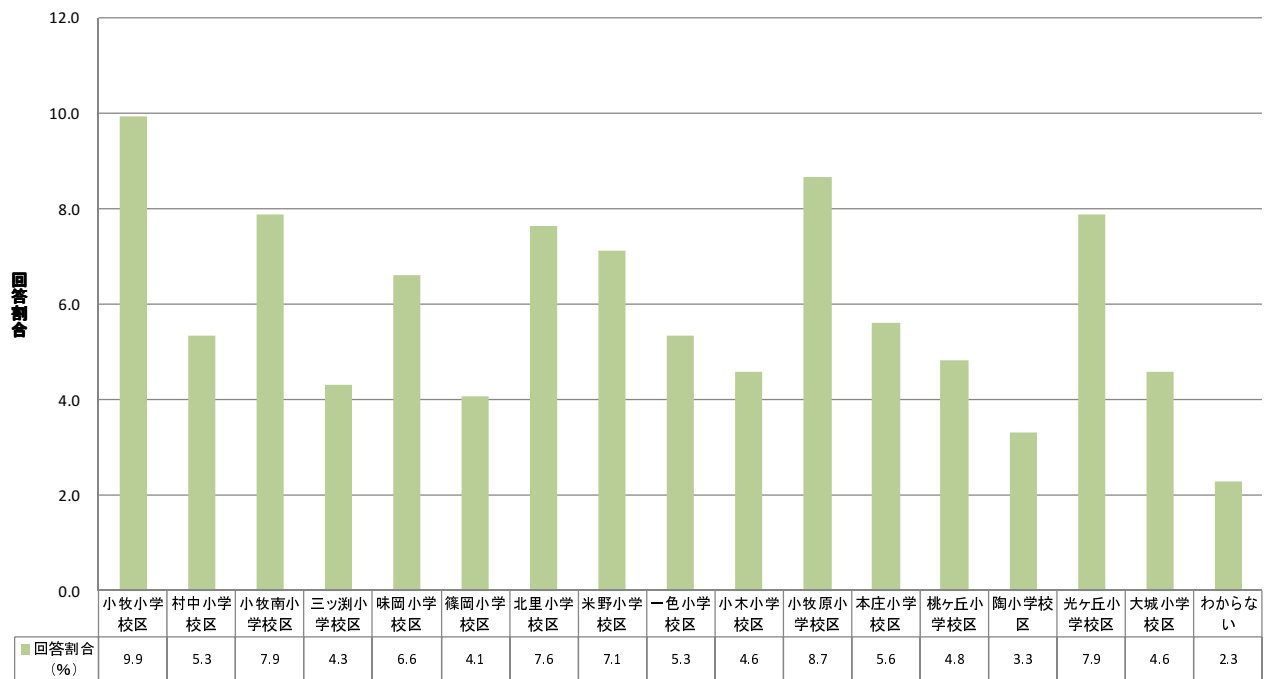
1. 基礎的事項／回答者の属性について

あなた自身のことをお聞かせください。

問1-1 あなたがお住まいの「小学校区」は、どちらですか。【〇は1つ】

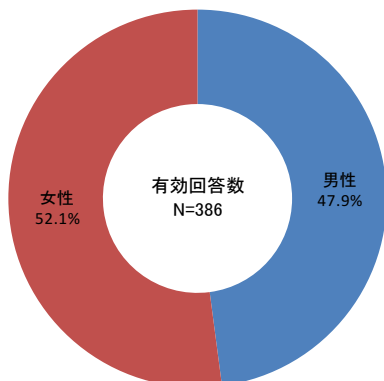
	有効回答数 (N)	回答割合 (%)
1 小牧小学校区	39	9.9
2 村中小学校区	21	5.3
3 小牧南小学校区	31	7.9
4 三ッ淵小学校区	17	4.3
5 味噌小学校区	26	6.6
6 篠岡小学校区	16	4.1
7 北里小学校区	30	7.6
8 米野小学校区	28	7.1
9 一色小学校区	21	5.3
10 小木小学校区	18	4.6
11 小牧原小学校区	34	8.7
12 本庄小学校区	22	5.6
13 桃ヶ丘小学校区	19	4.8
14 陶小学校区	13	3.3
15 光ヶ丘小学校区	31	7.9
16 大城小学校区	18	4.6
17 わからない	9	2.3
合計	393	

回答者数396人



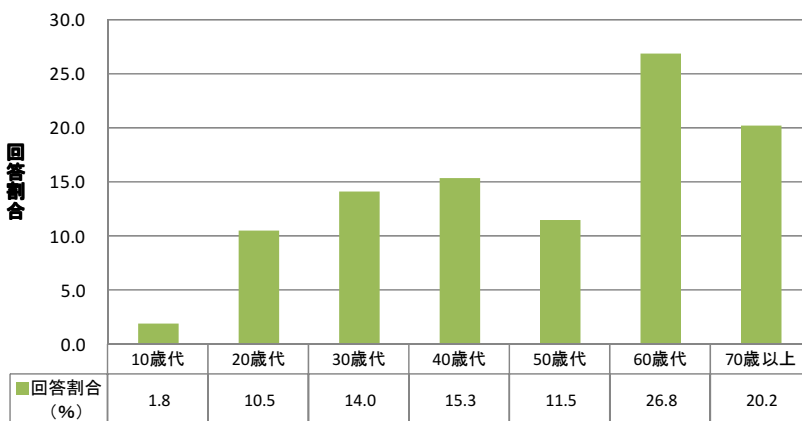
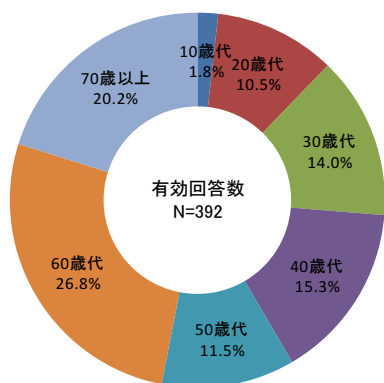
問1-3 あなた自身やご家族について、当てはまるもの各1つに○をつけてください。

		有効回答数 (N)	回答割合 (%)
性別	1 男性	185	47.9
	2 女性	201	52.1
回答者数396人		合計	386



・女性がやや多いがほぼ半数ずつである。

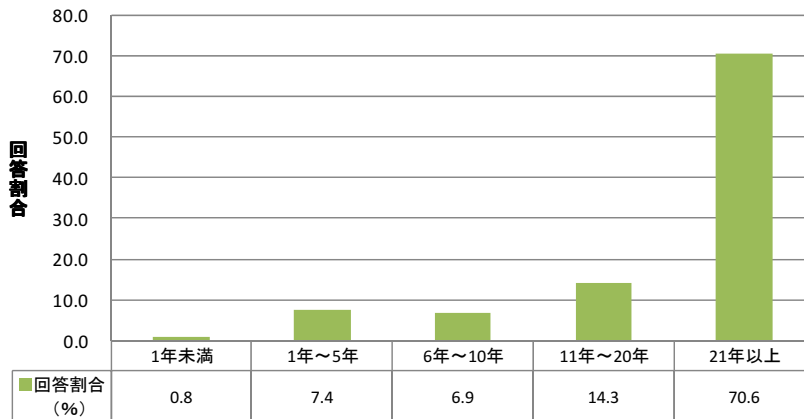
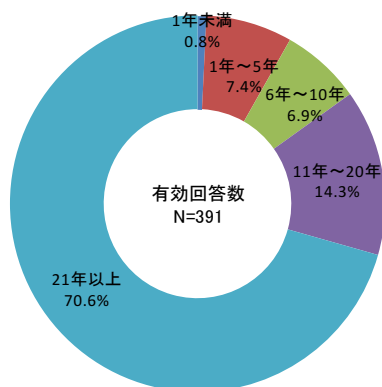
		有効回答数 (N)	回答割合 (%)
年齢	1 10歳代	7	1.8
	2 20歳代	41	10.5
	3 30歳代	55	14.0
	4 40歳代	60	15.3
	5 50歳代	45	11.5
	6 60歳代	105	26.8
	7 70歳以上	79	20.2
回答者数396人		合計	392



・「60歳代」の回答者が最も多く（26.8%）、次いで「70歳以上」（20.2%）となっている。

		有効回答数 (N)	回答割合 (%)
本市での 在住年数	1 1年未満	3	0.8
	2 1年～5年	29	7.4
	3 6年～10年	27	6.9
	4 11年～20年	56	14.3
	5 21年以上	276	70.6
合計		391	

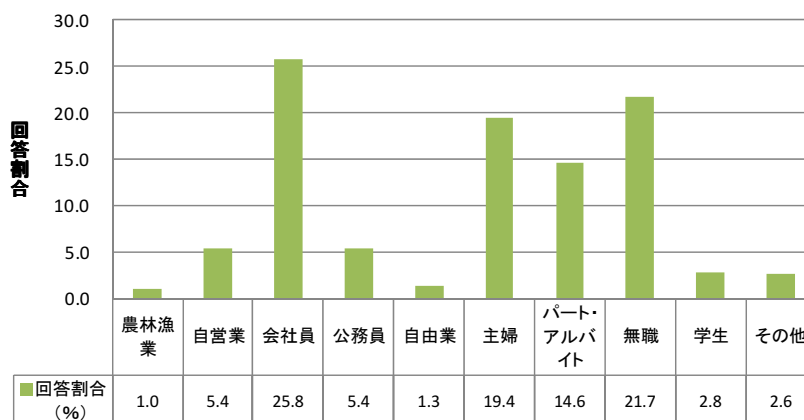
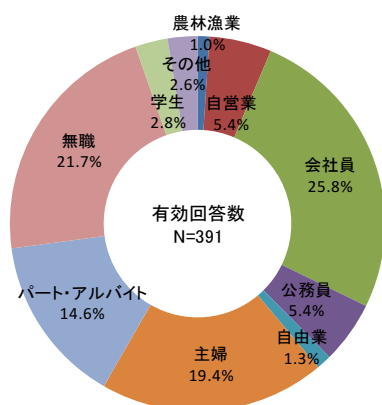
回答者数396人



・本市での在住年数が「21年以上」との回答が最も多い（70.6%）。

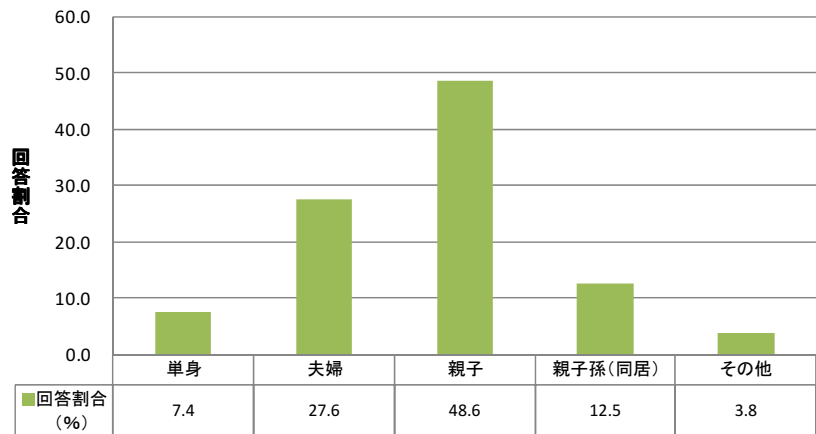
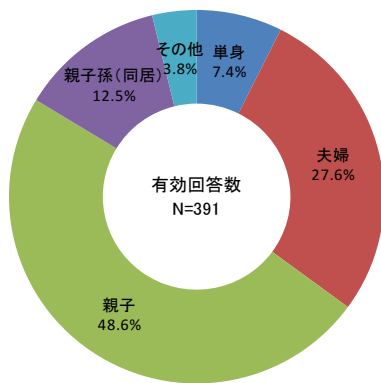
		有効回答数 (N)	回答割合 (%)
あなたの 主な職業	1 農林漁業	4	1.0
	2 自営業	21	5.4
	3 会社員	101	25.8
	4 公務員	21	5.4
	5 自由業	5	1.3
	6 主婦	76	19.4
	7 パート・アルバイト	57	14.6
	8 無職	85	21.7
	9 学生	11	2.8
	10 その他	10	2.6
合計		391	

回答者数396人



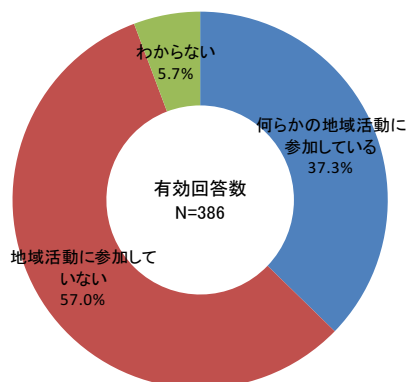
・「会社員」が最も多く（25.8%）、次いで「無職」（21.7%）、「主婦」（19.4%）の順になっている。「無職」は60歳代以上の高齢者が中心と見られる。

		有効回答数 (N)	回答割合 (%)
家族構成	1 単身	29	7.4
	2 夫婦	108	27.6
	3 親子	190	48.6
	4 親子孫(同居)	49	12.5
	5 その他	15	3.8
回答者数396人		合計	391



・「親子」の二世世代家族が最も多く（48.6%）、次いで「夫婦」（27.6%）、「親子孫」の三世世代家族（12.5%）となっている。

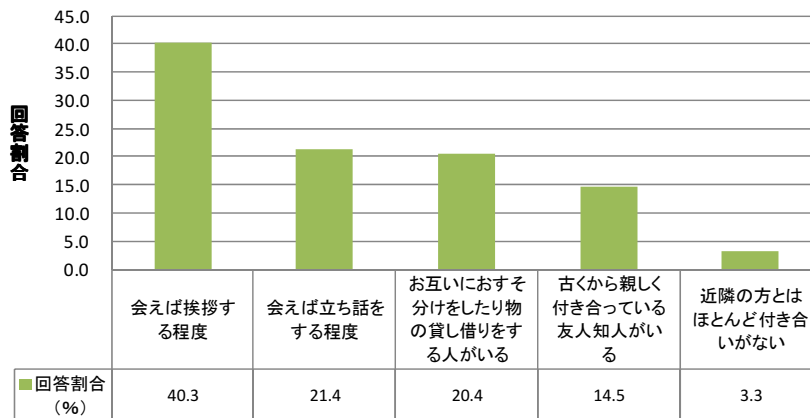
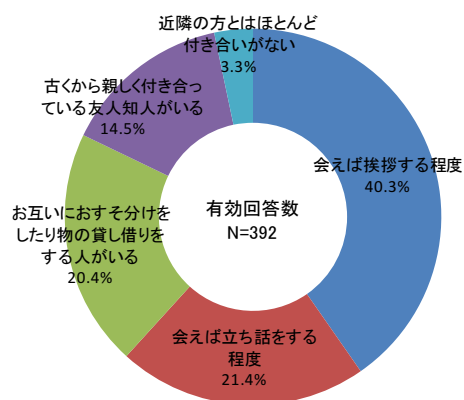
		有効回答数 (N)	回答割合 (%)
地域活動 参加状況	1 何らかの地域活動に参加している	144	37.3
	2 地域活動に参加していない	220	57.0
	3 わからない	22	5.7
回答者数396人		合計	386



・「地域活動に参加していない」との回答が最も多く半数を超える（57.0%）。

		有効回答数 (N)	回答割合 (%)
近所との お付き合い	1 会えば挨拶する程度	158	40.3
	2 会えば立ち話をする程度	84	21.4
	3 お互いにおすそ分けをしたり物の貸し借りをする人がいる	80	20.4
	4 古くから親しく付き合っている友人知人がいる	57	14.5
	5 近隣の方とはほとんど付き合いがない	13	3.3
合計		392	

回答者数396人



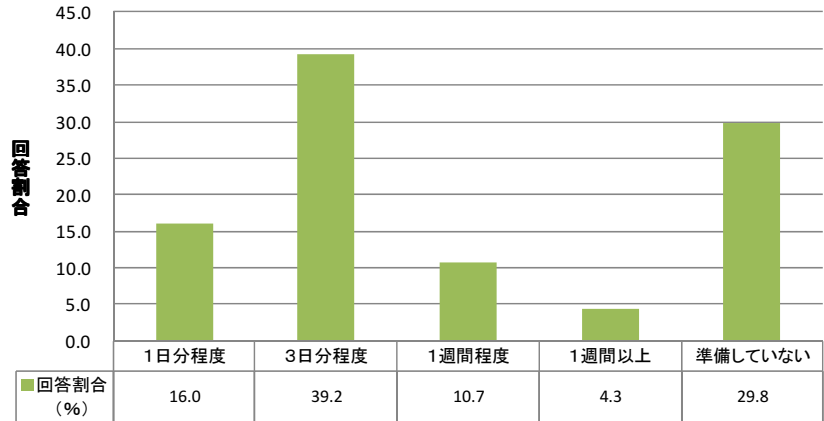
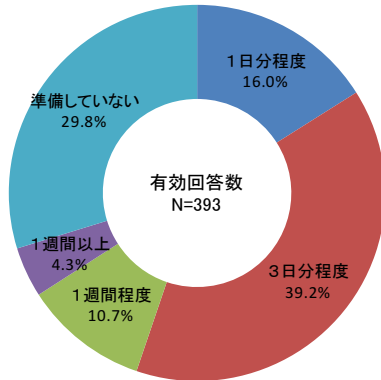
・「会えば挨拶する程度」との回答が最も多く（40.3%）、次いで「会えば立ち話をする程度」（21.4%）となっており、近所づきあいが若干希薄になっている傾向がうかがえる。

2. ご家庭での日ごろの防災対策について

問2-1 あなたのご家庭では、災害用の備蓄食料として何日分を準備していますか。【〇は1つ】

	有効回答数 (N)	回答割合 (%)
1 1日分程度	63	16.0
2 3日分程度	154	39.2
3 1週間程度	42	10.7
4 1週間以上	17	4.3
5 準備していない	117	29.8
合計	393	

回答者数396人



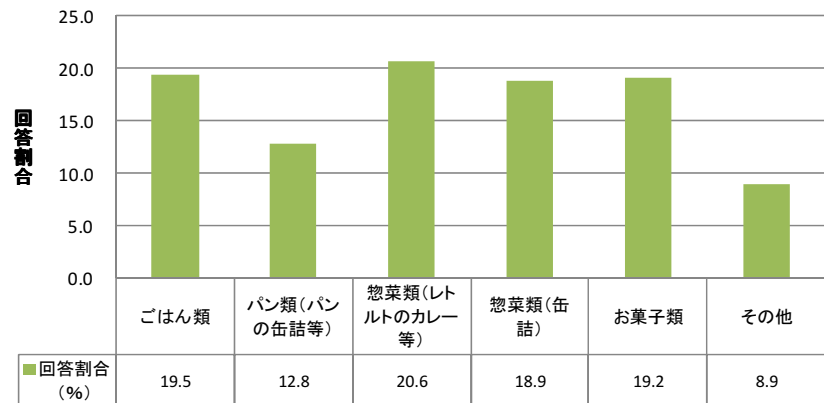
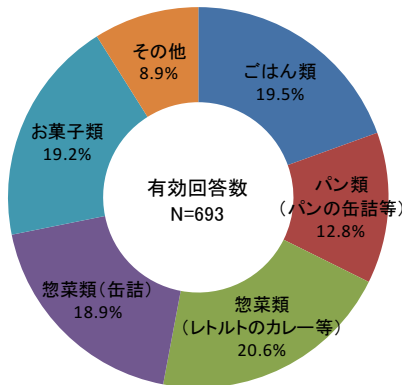
・「3日分程度」との回答が最も多くなっている（39.2%）。次いで「準備していない」（29.8%）との回答が多くなっている。

問2-2 問2-1で「1～4のうちどれか」を回答された方に伺います。

あなたのご家庭では、災害用の備蓄食料としてなにを準備していますか。【〇は該当するもの全て選択】

	有効回答数 (N)	回答割合 (%)
1 ごはん類	135	19.5
2 パン類(パンの缶詰等)	89	12.8
3 惣菜類(レトルトのカレー等)	143	20.6
4 惣菜類(缶詰)	131	18.9
5 お菓子類	133	19.2
6 その他	62	8.9
合計	693	

回答者数396人

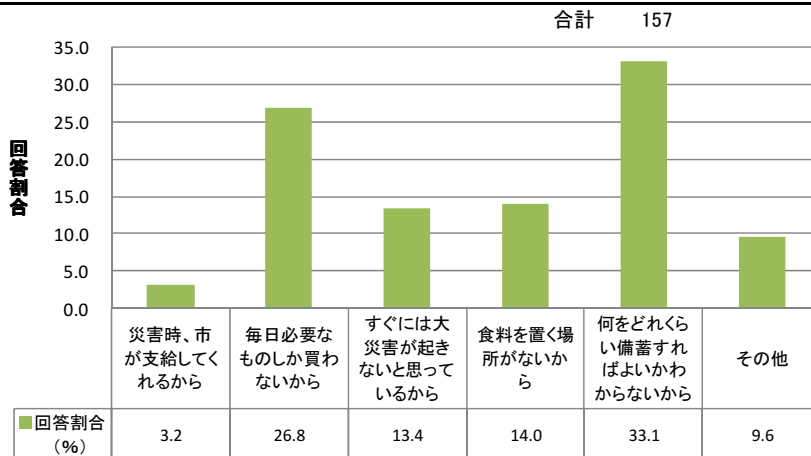
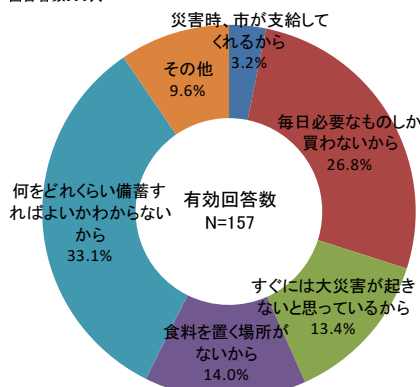


・「惣菜類（レトルトのカレー等）」、「ごはん類」、「惣菜類（缶詰）」、「お菓子類」がほぼ同率となった。「その他」の回答としては、カップ麺などの麺類、飲料水という回答が多く見られた。

問2-3 問2-1で「5」と回答された方に伺います。準備していない理由は何ですか。【〇は該当するもの全て選択】

	有効回答数 (N)	回答割合 (%)
1 災害時、市が支給してくれるから	5	3.2
2 毎日必要なものしか買わないから	42	26.8
3 すぐには大災害が起きないと思っているから	21	13.4
4 食料を置く場所がないから	22	14.0
5 何をどれくらい備蓄すればよいかわからないから	52	33.1
6 その他	15	9.6

回答者数396人

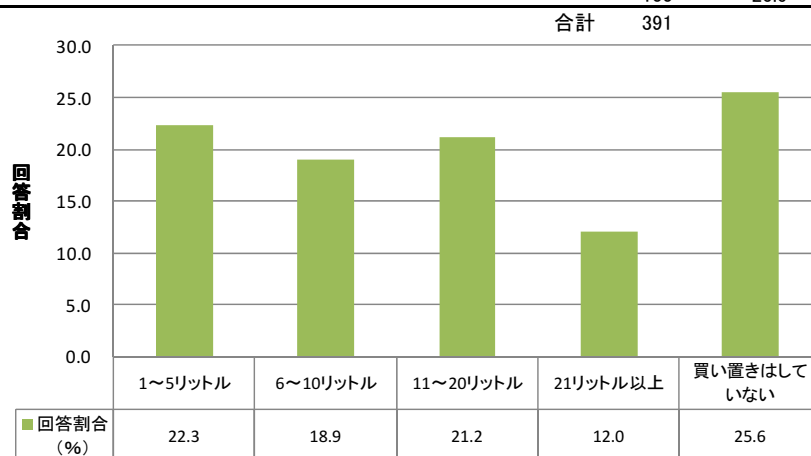
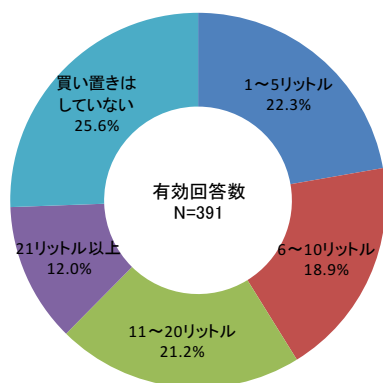


・「何をどれくらい備蓄すればよいかわからないから」という回答が最も多く（33.1%）、次いで「毎日必要なものしか買わないから」（26.8%）となっている。

問2-4 あなたのご家庭では、何リットルの飲料水の買い置きがありますか。【〇は1つ】

	有効回答数 (N)	回答割合 (%)
1 1～5リットル	87	22.3
2 6～10リットル	74	18.9
3 11～20リットル	83	21.2
4 21リットル以上	47	12.0
5 買い置きはしていない	100	25.6

回答者数396人

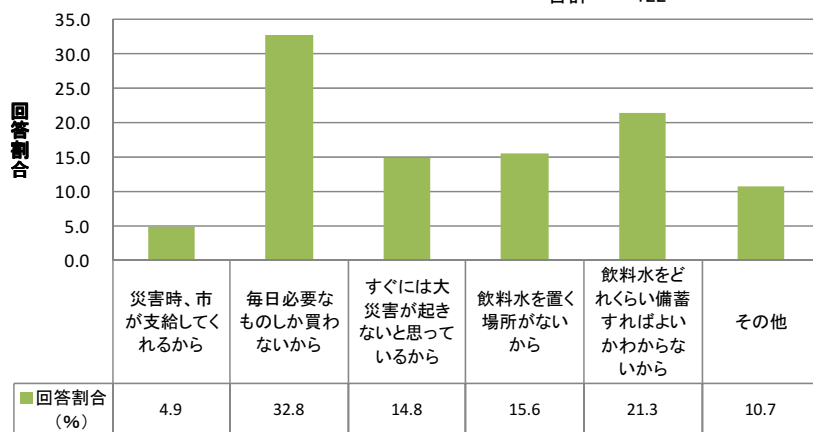
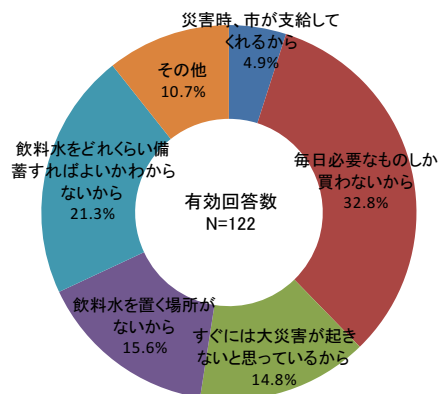


・「買い置きはしていない」との回答が最も多かった（25.6%）。

問2-5 問2-4で「5」と回答された方に伺います。買い置きしていない理由は何ですか。〔〇は該当するもの全て選択〕

	有効回答数 (N)	回答割合 (%)
1 災害時、市が支給してくれるから	6	4.9
2 毎日必要なものしか買わないから	40	32.8
3 すぐには大災害が起きないと思っているから	18	14.8
4 飲料水を置く場所がないから	19	15.6
5 飲料水をどれくらい備蓄すればよいかわからないから	26	21.3
6 その他	13	10.7
合計	122	

回答者数396人



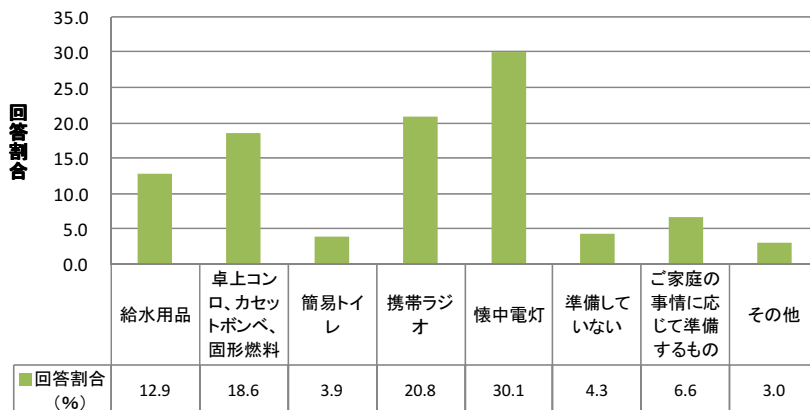
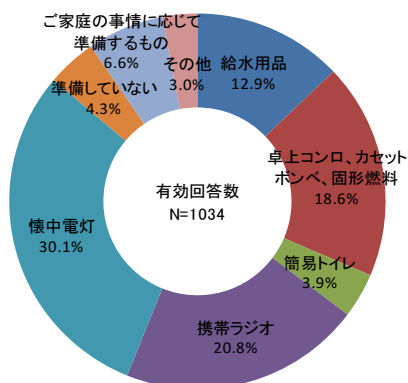
・「毎日必要なものしか買わないから」が最も多く (32.8%)、次いで「飲料水をどれくらい備蓄すればよいかわからないから」(21.3%) の順となっている。

問2-6 あなたのご家庭では、食料・飲料水以外の非常用備蓄品はどのようなものを準備していますか。

〔〇は該当するもの全て選択〕

	有効回答数 (N)	回答割合 (%)
1 給水用品(ポリ容器、バケツなど)	133	12.9
2 卓上コンロ、カセットボンベ、固形燃料	192	18.6
3 簡易トイレ	40	3.9
4 携帯ラジオ	215	20.8
5 懐中電灯	311	30.1
6 準備していない	44	4.3
7 ご家庭の事情に応じて準備するもの (ほ乳瓶、粉ミルク、おむつ、生理用品、持病薬など)	68	6.6
8 その他	31	3.0
合計	1034	

回答者数396人

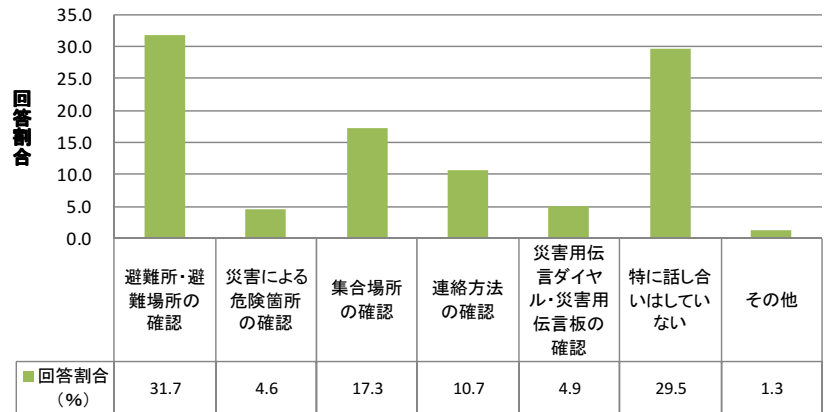
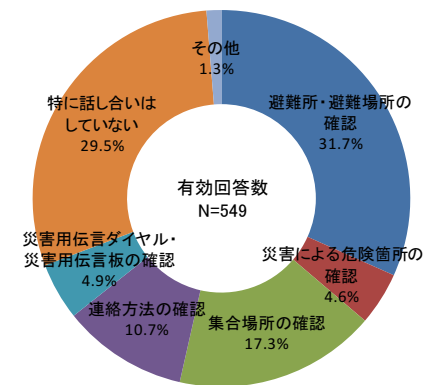


・「懐中電灯」が最も多く (30.1%)、次いで「携帯ラジオ」(20.8%)、「卓上コンロ、カセットボンベ、固形燃料」(18.6%) となっている。

問2-7 あなたの家庭では、災害に備えて、どのような話し合いをしていますか。〔〇は該当するもの全て選択〕

	有効回答数 (N)	回答割合 (%)
1 避難所・避難場所の確認	174	31.7
2 災害による危険箇所の確認	25	4.6
3 集合場所の確認	95	17.3
4 連絡方法の確認	59	10.7
5 災害用伝言ダイヤル・災害用伝言板の確認	27	4.9
6 特に話し合いはしていない	162	29.5
7 その他	7	1.3
合計	549	

回答者数396人



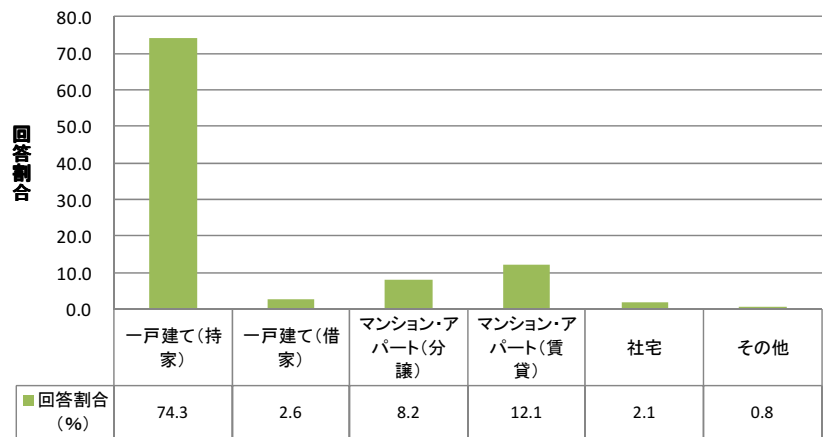
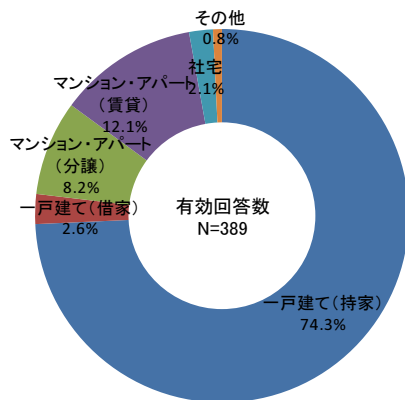
・「避難所・避難場所の確認」が最も多く（31.7%）、一方で「特に話し合いはしていない」との回答が次いで多かった（29.5%）。

3. ご家庭の耐震対策について

問3-1 お住まいの形態をお選びください。【〇は1つ】

	有効回答数 (N)	回答割合 (%)
1 一戸建て(持家)	289	74.3
2 一戸建て(借家)	10	2.6
3 マンション・アパート(分譲)	32	8.2
4 マンション・アパート(賃貸)	47	12.1
5 社宅	8	2.1
6 その他	3	0.8
合計	389	

回答者数396人

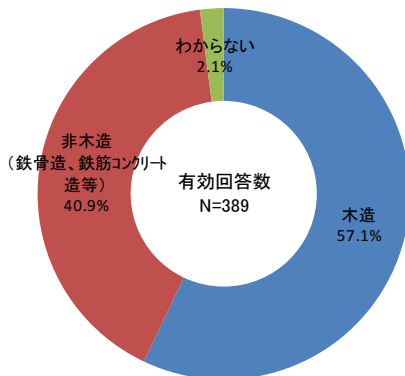


・「一戸建て(持家)」が最も多く74.3%を占めている。

問3-2 お住まいの構造をお選びください。【〇は1つ】

	有効回答数 (N)	回答割合 (%)
1 木造	222	57.1
2 非木造(鉄骨造、鉄筋コンクリート造等)	159	40.9
3 わからない	8	2.1
合計	389	

回答者数396人



・「木造」が半数を超えている(57.1%)。

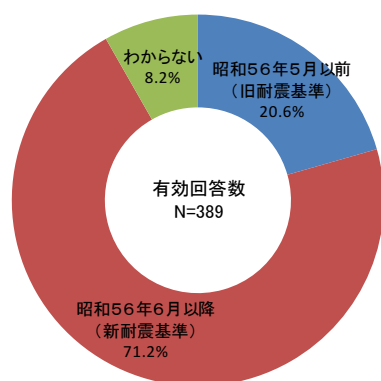
		問3-2 住まいの構造			合計
		木造	非木造 (鉄骨造、鉄筋コンクリート造等)	わからない	
問3-1 住まいの形態	一戸建て(持家)	209	76	4	289
	一戸建て(借家)	6	2	2	10
	マンション・アパート(分譲)	0	32	0	32
	マンション・アパート(賃貸)	7	39	1	47
	社宅	0	8	0	8
	その他	0	2	1	3
	合計	222	159	8	389

		問3-2 住まいの構造			合計
		木造	非木造 (鉄骨造、鉄筋コンクリート造等)	わからない	
問3-1 住まいの形態	一戸建て(持家)	53.7%	19.5%	1.0%	74.3%
	一戸建て(借家)	1.5%	0.5%	0.5%	2.6%
	マンション・アパート(分譲)	0.0%	8.2%	0.0%	8.2%
	マンション・アパート(賃貸)	1.8%	10.0%	0.3%	12.1%
	社宅	0.0%	2.1%	0.0%	2.1%
	その他	0.0%	0.5%	0.3%	0.8%
	合計	57.1%	40.9%	2.1%	100.0%

問3-3 あなたのお住まいは、いつごろ建てられましたか。【〇は1つ】

	有効回答数 (N)	回答割合 (%)
1 昭和56年5月以前(旧耐震基準)	80	20.6
2 昭和56年6月以降(新耐震基準)	277	71.2
3 わからない	32	8.2
合計	389	

回答者数396人



・「昭和56年5月以降(新耐震基準)」が最も多くなっている(71.2%)。

		問3-3 建築年			合計
		昭和56年5月以前 (旧耐震基準)	昭和56年6月以降 (新耐震基準)	わからない	
問3-1 住まいの形態	一戸建て(持家)	75	201	13	289
	一戸建て(借家)	3	2	5	10
	マンション・アパート(分譲)	0	31	1	32
	マンション・アパート(賃貸)	1	38	8	47
	社宅	1	3	4	8
	その他	0	2	1	3
	合計	80	277	32	389

		問3-3 建築年			合計
		昭和56年5月以前 (旧耐震基準)	昭和56年6月以降 (新耐震基準)	わからない	
問3-1 住まいの形態	一戸建て(持家)	19.3%	51.7%	3.3%	74.3%
	一戸建て(借家)	0.8%	0.5%	1.3%	2.6%
	マンション・アパート(分譲)	0.0%	8.0%	0.3%	8.2%
	マンション・アパート(賃貸)	0.3%	9.8%	2.1%	12.1%
	社宅	0.3%	0.8%	1.0%	2.1%
	その他	0.0%	0.5%	0.3%	0.8%
	合計	20.6%	71.2%	8.2%	100.0%

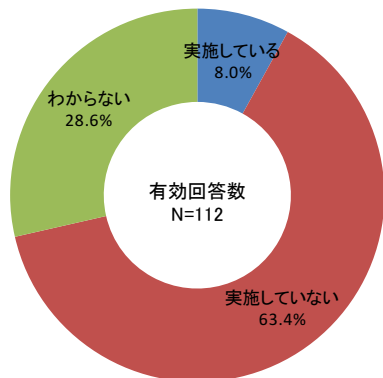
		問3-3 建築年			合計
		昭和56年5月以前 (旧耐震基準)	昭和56年6月以降 (新耐震基準)	わからない	
問3-2 住まいの構造	木造	69	139	14	222
	非木造 (鉄骨造、鉄筋コンクリート造等)	10	135	14	159
	わからない	1	3	4	8
	合計	80	277	32	389

		問3-3 建築年			合計
		昭和56年5月以前 (旧耐震基準)	昭和56年6月以降 (新耐震基準)	わからない	
問3-2 住まいの構造	木造	17.7%	35.7%	3.6%	57.1%
	非木造 (鉄骨造、鉄筋コンクリート造等)	2.6%	34.7%	3.6%	40.9%
	わからない	0.3%	0.8%	1.0%	2.1%
	合計	20.6%	71.2%	8.2%	100.0%

問3-4 問3-3で「1」または「3」と回答された方に伺います。あなたのお住まいは耐震補強をしていますか。【〇は1つ】

	有効回答数 (N)	回答割合 (%)
1 実施している	9	8.0
2 実施していない	71	63.4
3 わからない	32	28.6
合計	112	

回答者数396人



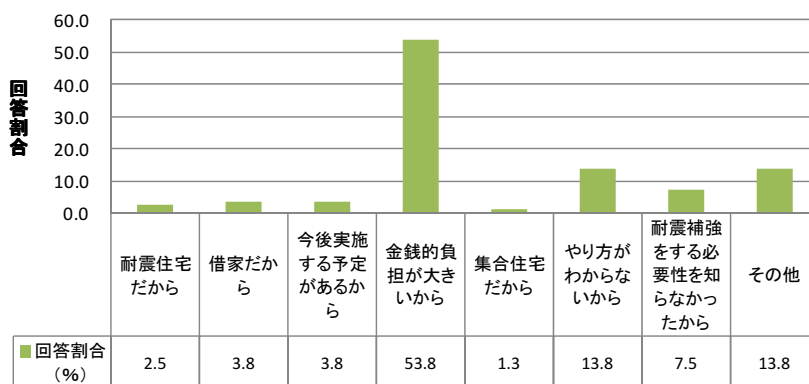
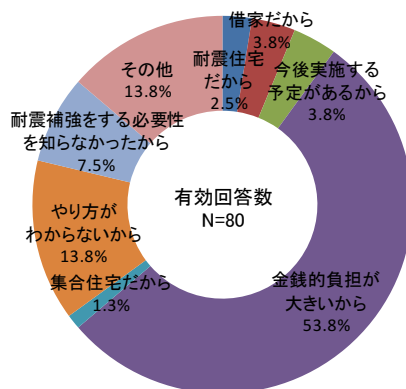
・「実施していない」との回答が6割を超えている（63.4%）。

問3-5 問3-4で「2」と回答された方に伺います。耐震補強をしていない理由をお選びください。

【〇は該当するもの全て選択】

	有効回答数 (N)	回答割合 (%)
1 耐震住宅だから	2	2.5
2 借家だから	3	3.8
3 今後実施する予定があるから	3	3.8
4 金銭的負担が大きいため	43	53.8
5 集合住宅だから	1	1.3
6 やり方がわからないから	11	13.8
7 耐震補強をする必要性を知らなかったから	6	7.5
8 その他	11	13.8
合計	80	

回答者数396人



・「金銭的負担が大きいため」との回答が最も多い（53.8%）。

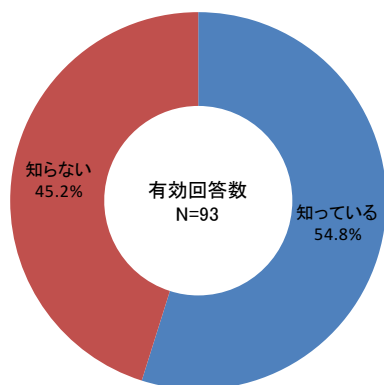
問3-6 問3-3で「1」または「3」と回答された方に伺います。

小牧市では昭和56年5月以前に着工された木造住宅を対象に、無料で耐震診断を行っていますが、ご存知ですか。

【〇は1つ】

	有効回答数 (N)	回答割合 (%)
1 知っている	51	54.8
2 知らない	42	45.2
合計	93	

回答者数396人

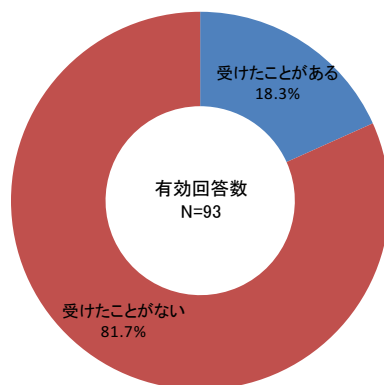


・「知っている」との回答が半数を超える（54.8%）。

問3-7 問3-3で「1」または「3」と回答された方に伺います。耐震診断を受けたことがありますか。【〇は1つ】

	有効回答数 (N)	回答割合 (%)
1 受けたことがある	17	18.3
2 受けたことがない	76	81.7
合計	93	

回答者数396人

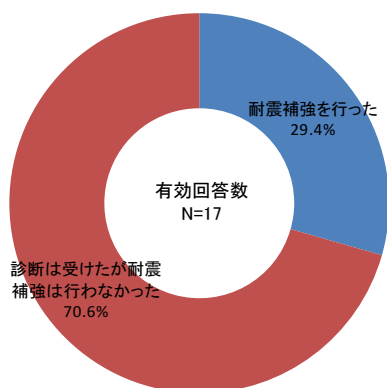


・「受けたことがない」との回答が8割を超えている（81.7%）。

問3-8 問3-7で「1」と回答された方に伺います。耐震診断を受けて、どのような対応をされましたか。【〇は1つ】

	有効回答数 (N)	回答割合 (%)
1 耐震補強を行った	5	29.4
2 診断は受けたが耐震補強は行わなかった	12	70.6
合計	17	

回答者数396人

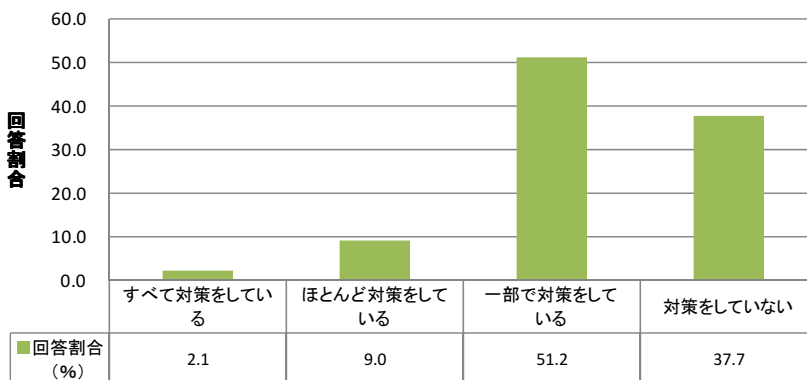
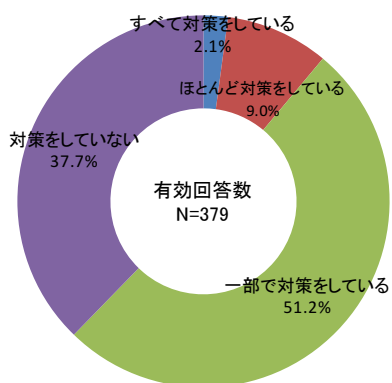


・「診断は受けたが耐震補強は行わなかった」との回答が7割を超えている (70.6%)。

問3-9 あなたのお住まいでは、地震対策（転倒するおそれのある家具類の固定、窓ガラス飛散防止フィルムなど）を行っていますか。【〇は1つ】

	有効回答数 (N)	回答割合 (%)
1 すべて対策をしている	8	2.1
2 ほとんど対策をしている	34	9.0
3 一部で対策をしている	194	51.2
4 対策をしていない	143	37.7
合計	379	

回答者数396人



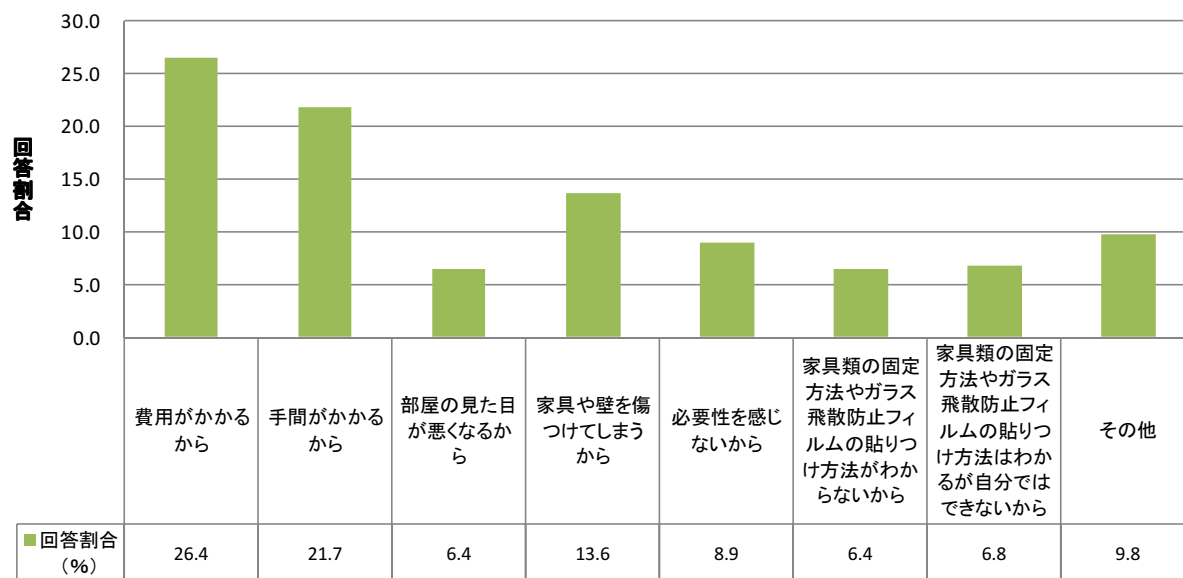
・「一部で対策をしている」が最も多く (51.2%)、次いで「対策をしていない」との回答が多い (37.7%)。

問3-10 問3-9で「4」と回答された方に伺います。地震対策をしていない理由をお選びください。

【〇は該当するもの全て選択】

	有効回答数 (N)	回答割合 (%)
1 費用がかかるから	62	26.4
2 手間がかかるから	51	21.7
3 部屋の見た目が悪くなるから	15	6.4
4 家具や壁を傷つけてしまうから	32	13.6
5 必要性を感じないから	21	8.9
6 家具類の固定方法やガラス飛散防止フィルムの貼りつけ方法がわからないから	15	6.4
7 家具類の固定方法やガラス飛散防止フィルムの貼りつけ方法はわかるが自分ではできないから	16	6.8
8 その他	23	9.8
合計	235	

回答者数396人



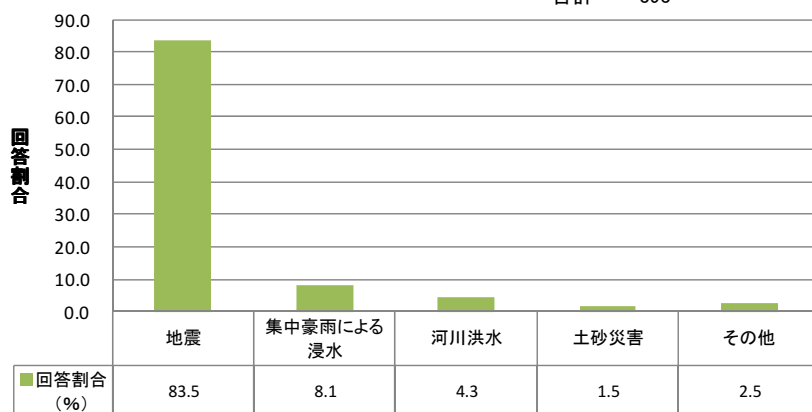
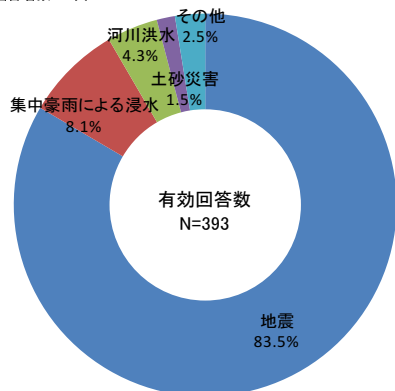
・「費用がかかるから」との回答が最も多く（26.4%）、次いで「手間がかかるから」（21.7%）、「家具や壁を傷つけてしまうから」（13.6%）の順になっている。

4. 災害に対する心配について

問4-1 あなたの住んでいる地域で、最も心配な災害は何ですか。【〇は1つ】

	有効回答数 (N)	回答割合 (%)
1 地震	328	83.5
2 集中豪雨による浸水	32	8.1
3 河川洪水	17	4.3
4 土砂災害	6	1.5
5 その他	10	2.5
合計	393	

回答者数396人



・「地震」との回答が最も多い (83.5%)。

	問4-1 最も心配な災害					合計
	地震	集中豪雨による 浸水	河川洪水	土砂災害	その他	
小牧小学校区	34	3	0	1	1	39
村中小学校区	19	2	0	0	0	21
小牧南小学校区	27	2	2	0	0	31
三ッ淵小学校区	15	2	0	0	0	17
味岡小学校区	19	5	2	0	1	27
篠岡小学校区	14	1	0	0	1	16
北里小学校区	25	4	3	0	0	32
米野小学校区	26	2	0	0	0	28
一色小学校区	17	3	1	0	1	22
小木小学校区	13	2	2	0	1	18
小牧原小学校区	25	1	5	0	0	31
本庄小学校区	15	1	1	3	2	22
桃ヶ丘小学校区	18	0	0	0	1	19
陶小学校区	10	2	1	0	0	13
光ヶ丘小学校区	27	1	0	1	1	30
大城小学校区	16	0	0	1	1	18
わからない	8	1	0	0	0	9
全体	328	32	17	6	10	393

問1-1
お住まいの
「小学校区」

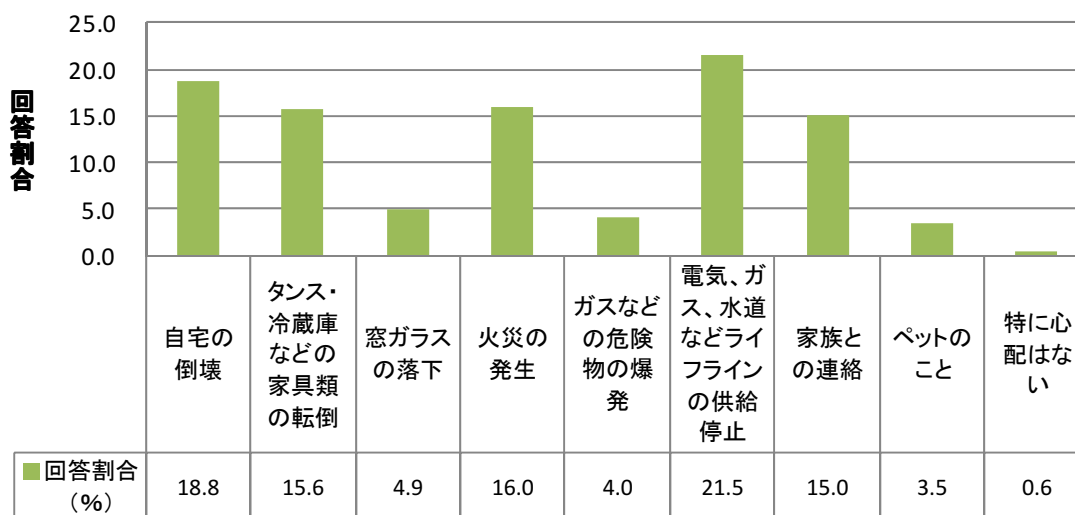
	問4-1 最も心配な災害					合計	
	地震	集中豪雨による 浸水	河川洪水	土砂災害	その他		
問1-1 お住まいの 「小学校区」	小牧小学校区	87.2%	7.7%	0.0%	2.6%	2.6%	100.0%
	村中小学校区	90.5%	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	小牧南小学校区	87.1%	6.5%	6.5%	0.0%	0.0%	100.0%
	三ッ淵小学校区	88.2%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	味岡小学校区	70.4%	18.5%	7.4%	0.0%	3.7%	100.0%
	篠岡小学校区	87.5%	6.3%	0.0%	0.0%	6.3%	100.0%
	北里小学校区	78.1%	12.5%	9.4%	0.0%	0.0%	100.0%
	米野小学校区	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	一色小学校区	77.3%	13.6%	4.5%	0.0%	4.5%	100.0%
	小木小学校区	72.2%	11.1%	11.1%	0.0%	5.6%	100.0%
	小牧原小学校区	80.6%	3.2%	16.1%	0.0%	0.0%	100.0%
	本庄小学校区	68.2%	4.5%	4.5%	13.6%	9.1%	100.0%
	桃ヶ丘小学校区	94.7%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	100.0%
	陶小学校区	76.9%	15.4%	7.7%	0.0%	0.0%	100.0%
	光ヶ丘小学校区	90.0%	3.3%	0.0%	3.3%	3.3%	100.0%
	大城小学校区	88.9%	0.0%	0.0%	5.6%	5.6%	100.0%
	わからない	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	全体	83.5%	8.1%	4.3%	1.5%	2.5%	100.0%

問4-2 大規模な地震が発生した場合、あなたのご自宅では、特にどのようなことが心配ですか。〔〇は3つまで〕

	有効回答数 (N)	回答割合 (%)
1 自宅の倒壊	191	18.8
2 タンス・冷蔵庫などの家具類の転倒	159	15.6
3 窓ガラスの落下	50	4.9
4 火災の発生	163	16.0
5 ガスなどの危険物の爆発	41	4.0
6 電気、ガス、水道などライフラインの供給停止	219	21.5
7 家族との連絡	153	15.0
8 ペットのこと	36	3.5
9 特に心配はない	6	0.6

回答者数396人

合計 1018

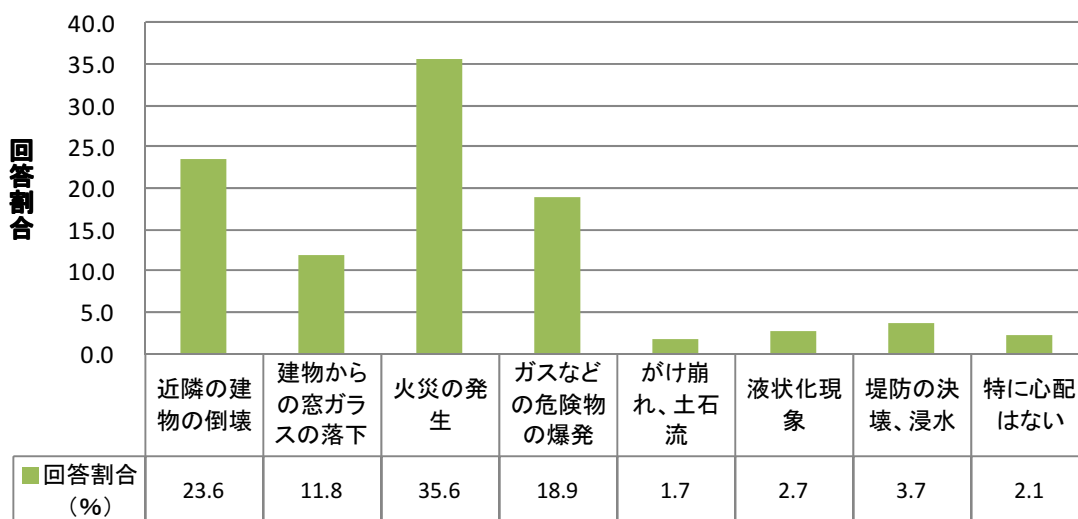


・「電気、ガス、水道などライフラインの供給停止」との回答が最も多く (21.5%)、次いで「自宅の倒壊」(18.8%)、「火災の発生」(16.0%)、「タンス・冷蔵庫などの家具類の転倒」(15.6%)、「家族との連絡」(15.0%)が多くなっている。

問4-3 大規模な地震が発生した場合、あなたの住んでいる地域では、特にどのようなことが心配ですか。【〇は3つまで】

	有効回答数 (N)	回答割合 (%)
1 近隣の建物の倒壊	200	23.6
2 建物からの窓ガラスの落下	100	11.8
3 火災の発生	302	35.6
4 ガスなどの危険物の爆発	160	18.9
5 がけ崩れ、土石流	14	1.7
6 液状化現象	23	2.7
7 堤防の決壊、浸水	31	3.7
8 特に心配はない	18	2.1
合計	848	

回答者数396人



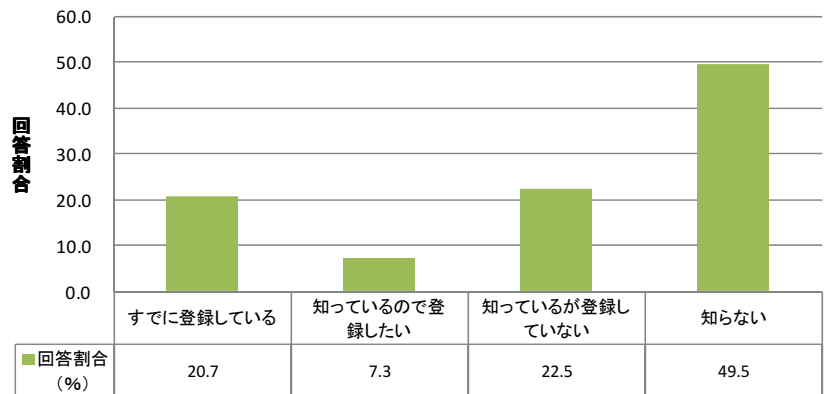
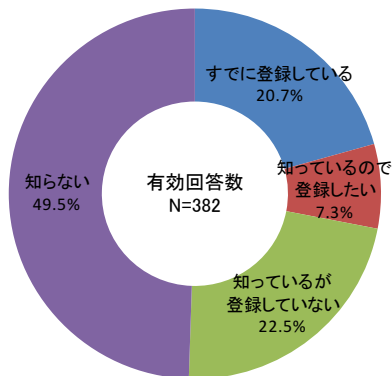
・「火災の発生」との回答が最も多く（35.6%）、次いで「近隣の建物の倒壊」（23.6%）、「ガスなどの危険物の爆発」（18.9%）が多い。

5. 防災情報の伝達、収集について

問5-1 小牧市では、警報情報、震度情報や避難勧告等の緊急情報を登録していただいた携帯電話・パソコンへメール配信する「小牧市防災情報メール」を行っています。このことをご存知ですか。【〇は1つ】

	有効回答数 (N)	回答割合 (%)
1 すでに登録している	79	20.7
2 知っているので登録したい	28	7.3
3 知っているが登録していない	86	22.5
4 知らない	189	49.5
合計	382	

回答者数396人



・半数が「知らない」と回答している。次いで「知っているが登録していない」が多くなっている (22.5%)。自由記述で「以前登録していたが、緊急情報以外の情報メールが頻繁に送られてきて (講座情報等) 鬱陶しくて止めた」との記載があった。

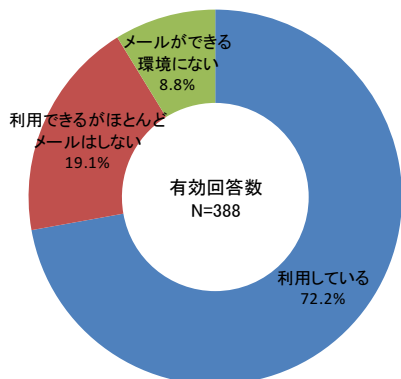
		問5-1 「小牧市防災情報メール」の認知有無				合計
		すでに登録している	知っているので登録したい	知っているが登録していない	知らない	
問1-3 年齢	10歳代	2	0	1	4	7
	20歳代	7	2	2	30	41
	30歳代	18	3	5	29	55
	40歳代	13	9	8	28	58
	50歳代	9	2	10	22	43
	60歳代	25	9	32	36	102
	70歳以上	5	3	28	40	76
	全体	79	28	86	189	382

		問5-1 「小牧市防災情報メール」の認知有無				合計
		すでに登録している	知っているので登録したい	知っているが登録していない	知らない	
問1-3 年齢	10歳代	28.6%	0.0%	14.3%	57.1%	100.0%
	20歳代	17.1%	4.9%	4.9%	73.2%	100.0%
	30歳代	32.7%	5.5%	9.1%	52.7%	100.0%
	40歳代	22.4%	15.5%	13.8%	48.3%	100.0%
	50歳代	20.9%	4.7%	23.3%	51.2%	100.0%
	60歳代	24.5%	8.8%	31.4%	35.3%	100.0%
	70歳以上	6.6%	3.9%	36.8%	52.6%	100.0%
	全体	20.7%	7.3%	22.5%	49.5%	100.0%

問5-2 あなたは、普段携帯電話やパソコンでメールを利用していますか。【〇は1つ】

	有効回答数 (N)	回答割合 (%)
1 利用している	280	72.2
2 利用できるがほとんどメールはしない	74	19.1
3 メールができる環境にない(携帯電話やパソコンをもっていない)	34	8.8
合計	388	

回答者数396人



・「利用している」が7割を超える(72.2%)。一方で「メールができる環境にない」という回答も1割弱ある(8.8%)。

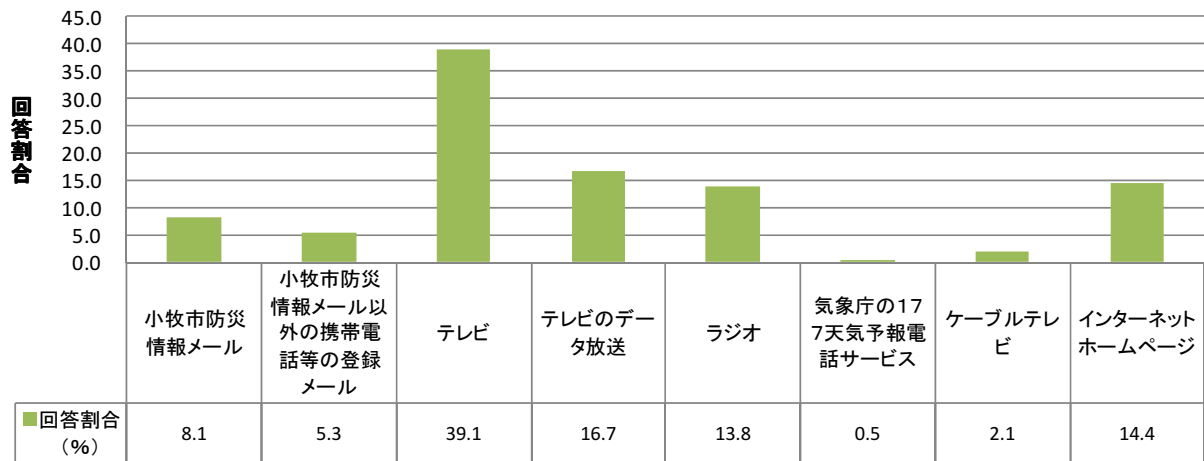
		問5-2 メール利用の有無			
		利用している	利用できるがほとんどメールはしない	メールができる環境にない(携帯電話やパソコンをもっていない)	合計
問1-3 年齢	10歳代	7	0	0	7
	20歳代	38	3	0	41
	30歳代	49	6	0	55
	40歳代	49	10	1	60
	50歳代	39	5	0	44
	60歳代	71	25	8	104
	70歳以上	27	25	25	77
	全体	280	74	34	388

		問5-2 メール利用の有無			
		利用している	利用できるがほとんどメールはしない	メールができる環境にない(携帯電話やパソコンをもっていない)	合計
問1-3 年齢	10歳代	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	20歳代	92.7%	7.3%	0.0%	100.0%
	30歳代	89.1%	10.9%	0.0%	100.0%
	40歳代	81.7%	16.7%	1.7%	100.0%
	50歳代	88.6%	11.4%	0.0%	100.0%
	60歳代	68.3%	24.0%	7.7%	100.0%
	70歳以上	35.1%	32.5%	32.5%	100.0%
	全体	72.2%	19.1%	8.8%	100.0%

問5-3 気象庁が発表する気象情報をどのような方法で情報収集していますか。【〇は該当するもの全て選択】

	有効回答数 (N)	回答割合 (%)
1 小牧市防災情報メール	71	8.1
2 小牧市防災情報メール以外の携帯電話等の登録メール	46	5.3
3 テレビ	342	39.1
4 テレビのデータ放送(リモコンのdボタンを押すと気象情報等が確認できる)	146	16.7
5 ラジオ	121	13.8
6 気象庁の177天気予報電話サービス	4	0.5
7 ケーブルテレビ	18	2.1
8 インターネットホームページ	126	14.4
合計	874	

回答者数396人



・「テレビ」との回答が最も多く（39.1%）、次いで「テレビのデータ放送」が多く（16.7%）、テレビから情報を得ている人が半数を超える。

問5-3 気象庁の気象情報の収集方法 *複数回答可

	小牧市防災情報メール	小牧市防災情報メール以外の携帯電話等の登録メール	テレビ	テレビのデータ放送	ラジオ	気象庁の177天気予報電話サービス	ケーブルテレビ	インターネットホームページ	合計
10歳代	0	0	7	5	1	0	0	4	17
20歳代	6	5	38	13	2	0	2	21	87
30歳代	16	9	39	18	8	0	2	32	124
40歳代	10	8	51	29	13	0	3	25	139
50歳代	9	7	39	20	9	0	0	15	99
60歳代	23	12	93	46	44	1	5	24	248
70歳以上	7	5	75	15	44	3	6	5	160
全体	71	46	342	146	121	4	18	126	874

問5-3 気象庁の気象情報の収集方法 *複数回答可

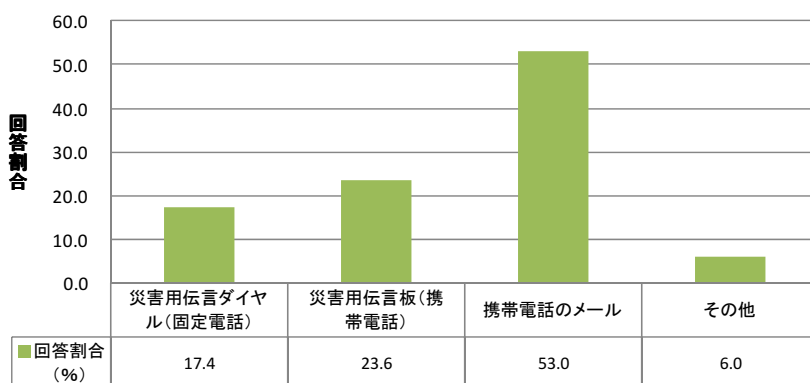
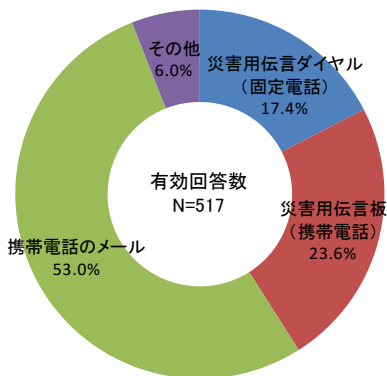
	小牧市防災情報メール	小牧市防災情報メール以外の携帯電話等の登録メール	テレビ	テレビのデータ放送	ラジオ	気象庁の177天気予報電話サービス	ケーブルテレビ	インターネットホームページ	合計
10歳代	0.0%	0.0%	41.2%	29.4%	5.9%	0.0%	0.0%	23.5%	100.0%
20歳代	6.9%	5.7%	43.7%	14.9%	2.3%	0.0%	2.3%	24.1%	100.0%
30歳代	12.9%	7.3%	31.5%	14.5%	6.5%	0.0%	1.6%	25.8%	100.0%
40歳代	7.2%	5.8%	36.7%	20.9%	9.4%	0.0%	2.2%	18.0%	100.0%
50歳代	9.1%	7.1%	39.4%	20.2%	9.1%	0.0%	0.0%	15.2%	100.0%
60歳代	9.3%	4.8%	37.5%	18.5%	17.7%	0.4%	2.0%	9.7%	100.0%
70歳以上	4.4%	3.1%	46.9%	9.4%	27.5%	1.9%	3.8%	3.1%	100.0%
全体	8.1%	5.3%	39.1%	16.7%	13.8%	0.5%	2.1%	14.4%	100.0%

問5-4 災害が発生し、電話がつながりにくくなったとき、あなたは家族との連絡をどのように取りますか。

【〇は該当するもの全て選択】

	有効回答数 (N)	回答割合 (%)
1 災害用伝言ダイヤル(固定電話)	90	17.4
2 災害用伝言板(携帯電話)	122	23.6
3 携帯電話のメール	274	53.0
4 その他	31	6.0
合計	517	

回答者数396人



・「携帯電話のメール」との回答が最も多い(53.0%)。

		問5-4 災害発生時の連絡方法(電話以外) *複数回答可				
		災害用伝言ダイヤル (固定電話)	災害用伝言板 (携帯電話)	携帯電話の メール	その他	合計
問1-3 年齢	10歳代	2	2	3	2	9
	20歳代	4	17	35	4	60
	30歳代	13	21	47	1	82
	40歳代	11	15	47	4	77
	50歳代	6	16	34	5	61
	60歳代	32	33	74	6	145
	70歳以上	22	18	33	9	82
	全体	90	122	273	31	516

※年齢不明者を除く

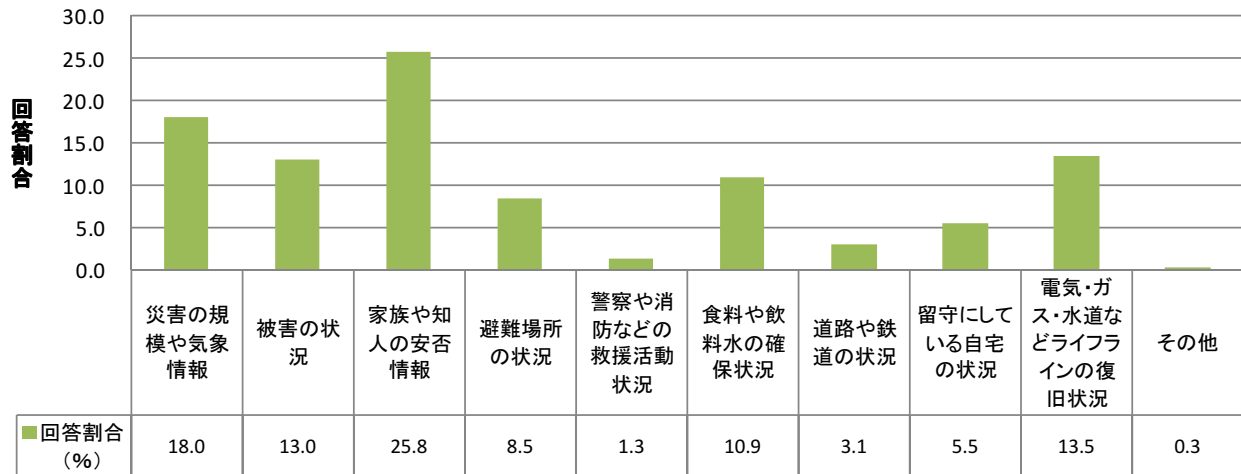
		問5-4 災害発生時の連絡方法(電話以外) *複数回答可				
		災害用伝言ダイヤル (固定電話)	災害用伝言板 (携帯電話)	携帯電話の メール	その他	合計
問1-3 年齢	10歳代	22.2%	22.2%	33.3%	22.2%	100.0%
	20歳代	6.7%	28.3%	58.3%	6.7%	100.0%
	30歳代	15.9%	25.6%	57.3%	1.2%	100.0%
	40歳代	14.3%	19.5%	61.0%	5.2%	100.0%
	50歳代	9.8%	26.2%	55.7%	8.2%	100.0%
	60歳代	22.1%	22.8%	51.0%	4.1%	100.0%
	70歳以上	26.8%	22.0%	40.2%	11.0%	100.0%
	全体	17.4%	23.6%	52.9%	6.0%	100.0%

問5-5 災害発生時、特に知りたいと思う情報は何か。〔〇は3つまで〕

	有効回答数 (N)	回答割合 (%)
1 災害の規模や気象情報	203	18.0
2 被害の状況	147	13.0
3 家族や知人の安否情報	291	25.8
4 避難場所の状況	96	8.5
5 警察や消防などの救援活動状況	15	1.3
6 食料や飲料水の確保状況	123	10.9
7 道路や鉄道の状況	35	3.1
8 留守にしている自宅の状況	62	5.5
9 電気・ガス・水道などライフラインの復旧状況	152	13.5
10 その他	3	0.3

回答者数396人

合計 1127



・「家族や知人の安否情報」が最も多く (25.8%)、次いで「災害の規模や気象情報」(18.0%) が多くなっている。

問5-5 災害発生時、特に知りたい情報 * 回答は3つまで

	災害の規模や気象情報	被害の状況	家族や知人の安否情報	避難場所の状況	警察や消防などの救援活動状況	食料や飲料水の確保状況	道路や鉄道の状況	留守にしている自宅の状況	電気・ガス・水道などライフラインの復旧状況	その他	合計
10歳代	3	3	6	2	0	2	0	2	3	0	21
20歳代	23	18	36	9	1	16	1	6	14	1	125
30歳代	22	21	49	18	1	15	3	8	15	0	152
40歳代	24	22	50	13	1	19	6	15	19	1	170
50歳代	24	20	33	14	0	12	3	5	17	0	128
60歳代	62	37	75	19	6	35	10	14	47	1	306
70歳以上	44	26	42	20	6	23	12	12	37	0	222
全体	202	147	291	95	15	122	35	62	152	3	1124

※年齢不明者を除く

問5-5 災害発生時、特に知りたい情報 * 回答は3つまで

	災害の規模や気象情報	被害の状況	家族や知人の安否情報	避難場所の状況	警察や消防などの救援活動状況	食料や飲料水の確保状況	道路や鉄道の状況	留守にしている自宅の状況	電気・ガス・水道などライフラインの復旧状況	その他	合計
10歳代	14.3%	14.3%	28.6%	9.5%	0.0%	9.5%	0.0%	9.5%	14.3%	0.0%	100.0%
20歳代	18.4%	14.4%	28.8%	7.2%	0.8%	12.8%	0.8%	4.8%	11.2%	0.8%	100.0%
30歳代	14.5%	13.8%	32.2%	11.8%	0.7%	9.9%	2.0%	5.3%	9.9%	0.0%	100.0%
40歳代	14.1%	12.9%	29.4%	7.6%	0.6%	11.2%	3.5%	8.8%	11.2%	0.6%	100.0%
50歳代	18.8%	15.6%	25.8%	10.9%	0.0%	9.4%	2.3%	3.9%	13.3%	0.0%	100.0%
60歳代	20.3%	12.1%	24.5%	6.2%	2.0%	11.4%	3.3%	4.6%	15.4%	0.3%	100.0%
70歳以上	19.8%	11.7%	18.9%	9.0%	2.7%	10.4%	5.4%	5.4%	16.7%	0.0%	100.0%
全体	18.0%	13.1%	25.9%	8.5%	1.3%	10.9%	3.1%	5.3%	13.5%	0.3%	100.0%

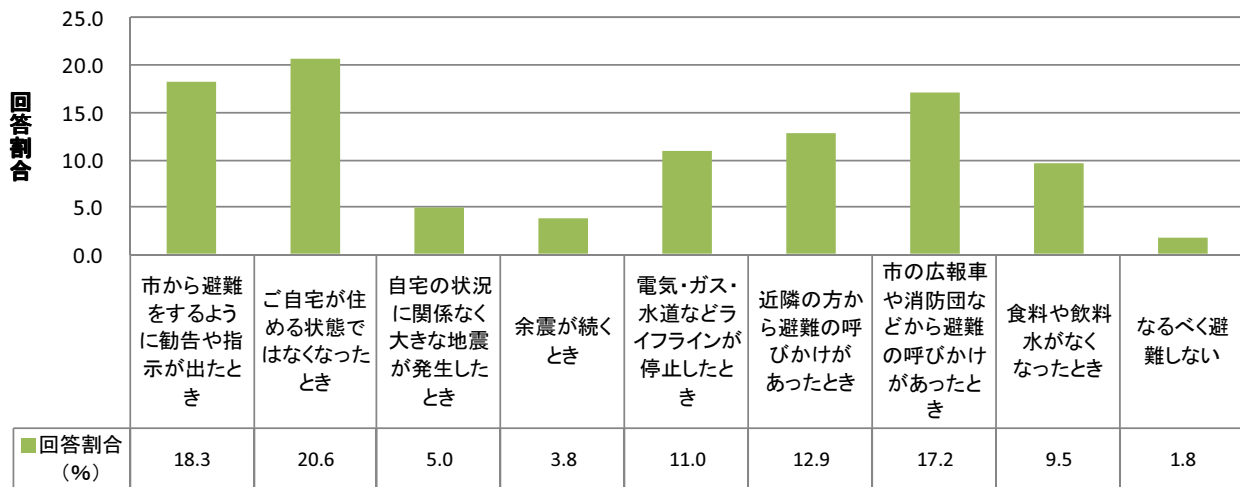
6. 避難行動について

問6-1 あなたはどのような状態となったら、ご自宅から避難しますか。【〇は該当するもの全て選択】

	有効回答数 (N)	回答割合 (%)
1 市から避難をするように勧告や指示が出たとき	247	18.3
2 ご自宅が住める状態ではなくなったとき	279	20.6
3 自宅の状況に関係なく大きな地震が発生したとき	67	5.0
4 余震が続くとき	51	3.8
5 電気・ガス・水道などライフラインが停止したとき	149	11.0
6 近隣の方から避難の呼びかけがあったとき	174	12.9
7 市の広報車や消防団などから避難の呼びかけがあったとき	232	17.2
8 食料や飲料水がなくなったとき	129	9.5
9 なるべく避難しない	24	1.8

回答者数396人

合計 1352

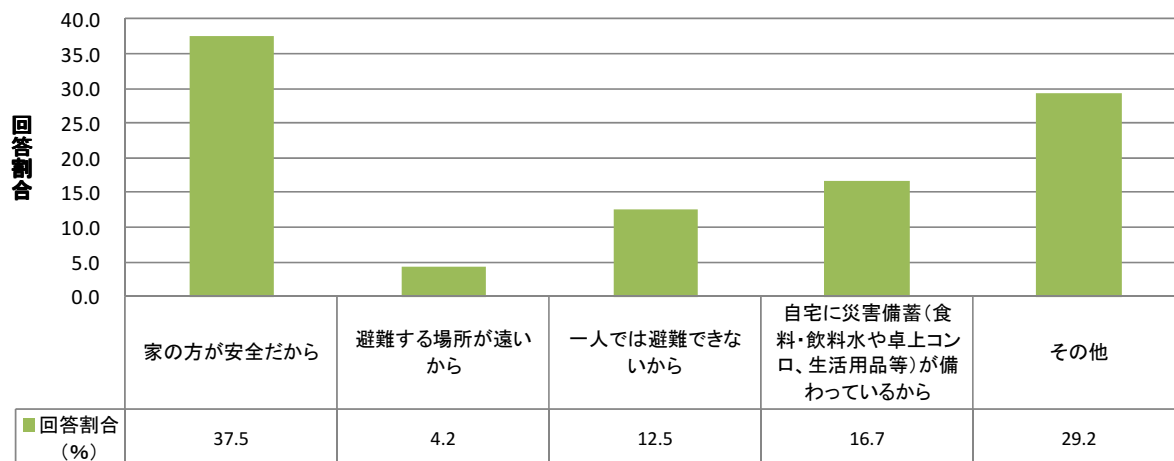


・「自宅が住める状態ではなくなったとき」が最も多く（20.6%）、ぎりぎりまで自宅にとどまりたいという心情がうかがえる。次いで「市から避難をするように勧告や指示が出たとき」（18.3%）、「市の広報車や消防団などから避難の呼びかけがあったとき」（17.2%）が多くなっている。

問6-2 問6-1で「9」と回答された方に伺います。避難しない理由をお選びください。【〇は1つ】

	有効回答数 (N)	回答割合 (%)
1 家の方が安全だから	9	37.5
2 避難する場所が遠いから	1	4.2
3 一人では避難できないから	3	12.5
4 自宅に災害備蓄(食料・飲料水や卓上コンロ、生活用品等)が備わっているから	4	16.7
5 その他	7	29.2
合計	24	

回答者数396人

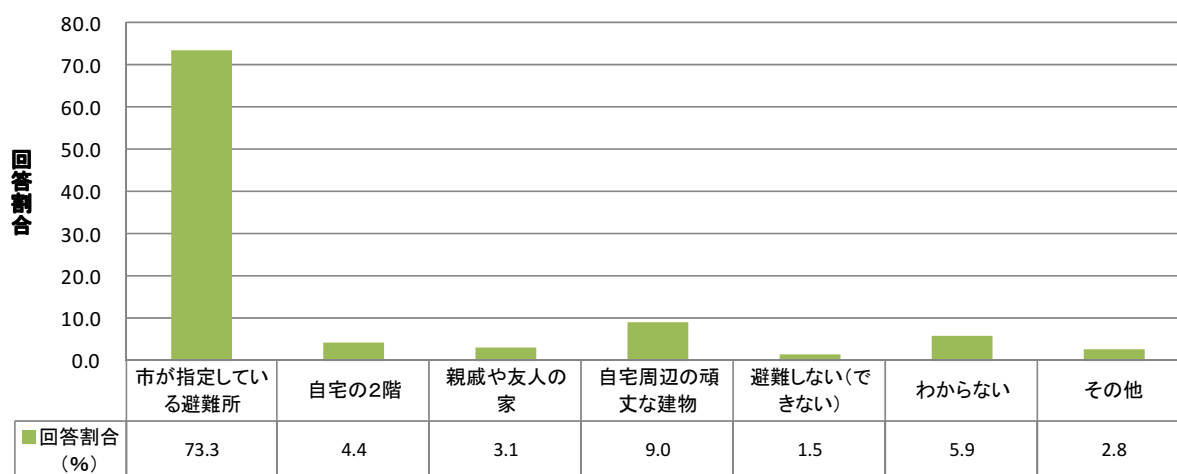


・「家の方が安全だから」との回答が最も多かった(37.5%)。「一人では避難できないから」という回答も1割強あった(12.5%)。

問6-3 避難が必要な状態になったとき、まずどこに避難しますか。【〇は1つ】

	有効回答数 (N)	回答割合 (%)
1 市が指定している避難所	286	73.3
2 自宅の2階	17	4.4
3 親戚や友人の家	12	3.1
4 自宅周辺の頑丈な建物	35	9.0
5 避難しない(できない)	6	1.5
6 わからない	23	5.9
7 その他	11	2.8
合計	390	

回答者数396人



・「市が指定している避難所」との回答が最も多く7割を超える(73.3%)。一方で、市が指定している避難所がわからない・遠い、などの記述も見られた。